

『本部』と『千葉破壊』だけの闘争本部！



労働千葉

79.11.25 全国版 No. 39

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電二五八〇九・公衆電話22七二〇七）

国鉄35万人体制粉碎に向けて、今こそ労働大改革を！

全国の労働組合員の皆さん！
 労働「本部」は、八月熊本大会において片肺欠陥執行部として発足して以降今日まで、出来もしない労働千葉破壊のための策動をくりかえしてきました。
 八〇年代を目前に、総評をはじめ日本労働運動の右傾化が急速に進む中で、労働「本部」反動集団は、安定宣言路線をもって国鉄再建＝国鉄三五万人体制攻撃に屈服し、他の闘いへのケチツケだけは一人前以上でも、自らは全く闘いを作り出すことができない状況となっています。

ますます反動性を露骨にする「本部」！

八月全国大会以降、労働「本部」反動集団は、労働運動、大衆運動としての路線提起、運動提起を何一つ出来ず、ただただ労働千葉破壊のみを「運動」としてきています。

①「動力車闘争第一号」をもって、「労働千葉をもっと弾圧しろ、千葉の職場規律を厳正にせよ」と国鉄当局に鉄労顔まけの申入れを行ない、
 ②労働千葉破壊のための「千葉事務所」を数百万円もかけて設置し、全国には、あたかも「千葉地本再建」ができたかのようなデマ宣伝をくりかえしている。

③われわれの10・22第一波、11・1第二波の減産・ストライキに対しては、前代未聞の「ストライキ反対」を叫び、ストライキが断固打ち抜かれるや、こんどは、「ストをやっても何も取れなかつたではないか」などとケチつけにもならないことをいっている。

④労働「本部」の10・21国際反戦闘争は日曜日・日勤者の昼休み中心の29分以内の集会と国電を除く減産・行動ということで完全なアリバイ闘争方針である。

⑤「せめて組合費だけでも」と裁判所＝権力に泣きつく「組合費訴訟」を起こしている。
 ⑥十一月二〇日の水本集会对して、全くセクト的立場から全国動員をかけている。

⑦十一月二一日、「水本集会」のついでに久しぶりの労働「本部」青年部四五〇名による破壊「オルグ」。

など、労働「本部」のやることは「これが労働組合か」というようなことばかりです。

着実な前進をちとってきた労働千葉の闘い

労働千葉結成以来七ヶ月、われわれは、労働「

本部」反動集団による様々な組織破壊攻撃を一つ一つ粉碎し、あらゆる困難をのりこえて、強固な組織体制を築き上げてきました。

第一に、四月二十八日～五月一日の連日、二〇〇〇名に及ぶ全国オルグをもって一挙に労働千葉をつぶそうとして暴力と金をもっておそいかかる労働「本部」反動集団に対し、断固たる対応をもって「千葉地本再建」策動を粉碎したこと。

第二に、八月熊本大会において、八敝委員長体制が片肺欠陥執行部としてしか発足できない形で、労働千葉の闘いが全国の戦闘的組合員に支持され、全国大会に大きく影響を及ぼしたこと。

第三に、わが労働千葉が10・21闘争を起点として、国鉄当局、権力などの様々な闘争圧殺策動をはねのけ、「スト反対」なる鉄労・右翼顔まけの労働「本部」反動集団の策動をはねのけ、10・22、11・1減産ストライキを打ち抜いたこと。

以上のように闘う労働千葉と労働組合にあらざる「本部」の対比は鮮明です。

今こそ、労働大改革をちととり、闘う労働の伝統を復権させよう！

反動暴力集団の労働私物化は、一貫して、規約・規則をふみにじり、組合運営ルールを無視し、「排除の論理」をもって労働千葉をはじめとする全国の戦闘的活動家、組合員に対する攻撃を行ない、労働の戦闘的伝統をけがし、労働をセクト的に引き廻すという形で行われてきました。今後、反動暴力分子のある限りセクト的引き廻しがより露骨に行われてくることははっきりしています。

全国の労働組合員の皆さん！
 今こそ、労働大改革をちととり、労働の闘う伝統を守り抜き、おそろべき国鉄再建＝三五万人体制攻撃と対決し、八〇年代の激闘を勝ち抜ける労働運動を築き上げようではありませんか。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

